

館山市子ども・子育て支援に関するアンケート結果を踏まえて 子育てしやすいまちとは？

令和6年2月から3月にかけて、未就学児と小学生の保護者対象に行われた子ども・子育て支援に関するアンケートでは、前回よりも「館山市は子育てしやすい」と回答した人が減り、「子育てしにくい」と回答した人が増えました。保護者が重要視する施策としては、「遊び場の整備」「小児医療体制の充実」「保育園・幼稚園・こども園の充実」「経済的支援」などが上位に挙げられています。

多くの自治体が、子育て世代の獲得のために子育て支援の充実を図っています。「若者が戻って来る町」を目指すのであれ

ば、「子育てしやすいまち」であることは大切です。令和7年1月27日まで「館山市こども計画案」のパブリックコメントを実施しています。市のホームページのほか、市役所、各公民館で閲覧できます。

より良い計画を作成できるよう、多くの皆様のご意見をお寄せください。

子育て支援
アンケート結果
はこちらから



館山市
こども計画案
はこちらから



館山市の子育て環境について

小学生保護者 単純集計結果

(館山市ホームページより)

問31 館山市は、子育てをしやすいまちだと思いますか。(SA)							
全体	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そうは思わない	わからない	無回答	
(%) 100.0	4.4	32.5	24.8	26.4	11.1	0.9	
(人) 705	31	229	175	186	78	6	

ウエルネスリゾートパーク計画について

平成11年12月議会で神戸地区区長会から提出され採択された請願のその後は？

千葉県立館山運動公園を中心に平成3年から計画されたウエルネスリゾートパーク計画は、マンガ王国の設立が困難になったことから中断されました。

平成11年12月に地元神戸地区の区長会から、市が買収した土地の活用を求める請願が提出されましたが、その後進展はなく、計画も中断したまま、購入された土地

は放置林となっています。最近になって、市から計画の廃止が地元持ちかけられています。地元からは、市が安易に売却し、環境破壊に繋がることがないようにして欲しいという声が上がっています。

元々は市が地域振興のためとして買い上げた土地です。更に有効活用を探っていただきたいと思います。

○主な補正予算

- ・ 障害介護給付費…**1億1,352万円**→障害福祉サービスの利用者が増えたため
- ・ 食のまちづくり拠点施設農園整備事業…**6,754万円**(前澤基金より)→道の駅グリーンファームの体験農園の整備といちごハウス建設を行います。企業版ふるさと納税により資材が提供されることになったので、工事費を市が負担して整備を行います。
- ・ 有害鳥獣対策費…**1,282万円**→イノシシの捕獲頭数の増加のため
- ・ 道路新設改良事業…**965万円**→二子の市道9052号線の供用開始に伴う追加工事のため

○公民館、学習等共用施設、スポーツ施設の利用料の改定について

令和7年4月から、市立公民館、学習等共用施設、スポーツ施設の利用料が改定されます。平成23年に現在の利用料が設定されてから改定は行われていません。人件費、物件費等の上昇のため、健全な経営を持続するために必要な改定です。



値上げします！

○館山市立小中学校再編計画決定

子どもの数が少なくなった現状を踏まえ、より良い教育環境を整えるため、学校再編計画が決定しました。令和8年度に那古小学校と船形小学校が統合、房南小学校と神余小学校が統合して小規模特認校となり、房南本校と神余分校となるのを皮切りに、学校の再編が進みます。

また、令和7年4月に館山中学校が新校舎に移転し、9年度には房南中学校が統合、将来的には第一中学校も統合して、館山市は中学校1校になる見込みです。

おわりに 館山市立博物館で2月1日から3月16日まで、企画展「福原有信と館山」が開催されます。福原有信は館山市松岡村(現在の竜岡)出身の資生堂創業者です。明治維新の激動の中、「万物資生」の理念のもと、国産の良質な薬品の製造、生命保険制度の整備など様々な事業を手がけました。日本で初めて女性の事務員を採用し

て、女性の社会進出のきっかけを作りました。また、日本初のクリームソーダを資生堂の店舗で販売し、現在の銀座の賑わいの礎を築きました。期間中、ぜひ博物館に足を運んでください。2月16日と3月16日にはギャラリートークが行われるほか、資生堂による高校生対象の身だしなみとマナー講座も予定されています。



福原有信が寄進した松岡八幡神社の鳥居

